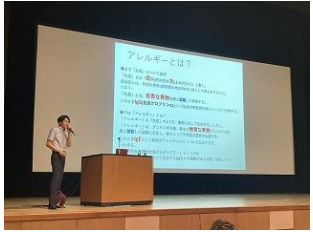


第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	大阪市学校保健会
団体等の概要 （設立・会員 数・目的等）	設立は昭和 26 年 7 月です。本市の学校保健の振興を図るとともに、その推進運営に寄与することを目的としています。 構成員等は大阪市立小、中学校及び幼稚園の学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校園長、保健主事、養護教諭、PTA、その他学校保健関係者となっています。
取り組み内容 令和 4 年度 実績	- 各区学校保健協議会における取り組み 区内の学校医等をはじめとする学校保健関係者、保護者を対象に、保健大会において講演会等を実施 今後も各区学校保健協議会における保健大会で、各区の健康課題に応じた講演会等を実施 - 学校保健タイムス発行(年2回) 学校保健の振興を図るとともにその維持運営に寄与することを目的とし、学校保健に関する現状や課題、調査研究など様々な情報を提供

第 3 次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	一般社団法人大阪市私立保育連盟
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	当連盟は、1956 年(昭和 31 年)に設立され、現在 497 ヶ園の認可された保育所(園)・認定こども園・小規模事業が加盟しています。【2023 年 1 月 1 日現在】加盟園は思想・信条の別なく民間保育園の特性を発揮し、次世代を担う子ども達の保育事業に取り組んでいます。また、地域の皆様の要望に応え、子育て支援事業を行っています。市内民間認可保育所(園)の組織として、相互の連携、協調を図りながら、次の事業計画を行い、民間保育所(園)の運営の推進、保育の質的向上を図っております。
取り組み内容 令和 4 年度実績	第 1 回食育研修 2022 年 6 月 15 日(水) 参加人数 107 名 場所:大阪府社会福祉会館 講師:三木えりか 氏(株式会社まんなか) 『摂食機能を理解し、子どもの発達に応じた「楽しい食」を考える』 ＊発達は積み重ねであり、口腔の発達は生後すぐから始まる運動発達に深く影響を受けるので、抱っこの仕方や体全体の運動発達を促すことの重要性についてお話いただきました。口腔機能についてはコップ飲みの実習を交えながら、偏食や噛んで食べるとはどういうことなのかについて実践を通して理解を深めました。  第 2 回食育研修 2022 年 8 月 22 日(月) 参加人数 80 名 場所:コミ協ひがしなり区民センター 講師:重川周 氏(大阪はびきの医療センター 小児科) 「アレルギー理解と安心・安全な食の提供-エピペンの実践も含めて-」 ＊アレルギーとは何かという基礎知識からはじまり、食物アレルギーの症状と症状出現時の対応や、「必要最小限の除去」とするために医者はどのように食物アレルギーを診断しているか、そののちの実際の食事療法についてなど、わかりやすくお話いただきました。また練習用のエピペントレーナーを使用した実習もあり、現場での実践に役立ちました。  第 3 回食育研修 2022 年 12 月 8 日(木) 参加人数 56 名 場所:大阪成蹊短期大学 相川キャンパス 講師:谷口信子 氏(大阪成蹊短期大学 栄養学科 学科長) 「みそ作りを通して日本の食文化を学ぶ」 ＊株式会社雨風様をお招きし、糀を使ってみそ作りの実習を行いました。また谷口先生には日本の食文化についてお話いただき、保育所(園)で実習ができない中、良い体験になったのではないかと思います。またその場で食べることはできませんでしたが、帰宅後も楽しみな実践となりました。  コロナとの共存を余儀なくされる日常ですが、子どもたちの発達を支える大切な食も常に隣り合わせです。状況を見ながらオンラインから対面での研修や実習をスタートすることができ、互いの学びを共有できる機会が増えてきました。 食の安心・安全と子どもたちの育ちを守るために、各施設の食育を推進し 「かしこく食べよう！ゲンキをつくろう！」のテーマのもと、食べるの大好きな子を各家庭や地域とともに作っていききたいと思います。

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	一般社団法人 大阪市私立幼稚園連合会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	設 立： 1969 年(昭和 44 年)11 月 22 日 会員数: 加盟園 131 園(令和 4 年 4 月 1 日現在) 目 的： 幼児教育の振興及び教職員の資質向上を図り、もって私立幼稚園・認定こども園の公共性を高め、市民の幼児教育に寄与すること
取り組み内容 令和 4 年度 実績	■大阪市から大阪市幼稚園等教員研修事業の委託を受け、その中に、本年度は 2 回、食育に関する内容の研修会を実施した。なお、コロナ禍の対面研修実施については、定員制限、換気等、感染防止対策を徹底して行った。 1. [教育・保育理論研修] (*市内の全公私立幼稚園・認定こども園対象) (1)日 時： 令和 4 年 6 月 10 日(金) 15:30～17:00 (2)会 場： 大阪科学技術センター 401 (3)テーマ: 「食物アレルギーと緊急時の対応」 (4)講 師： 亀田 誠 先生 (大阪はびきの医療センター小児科主任部長) (5)参加者数: 55 名 (6)研修内容 ①食物アレルギーとは ②食物アレルギーの臨床型と症状 ③診断と治療 ④生活管理指導表と園での対応 *エピペンの使った緊急時の対応実習 *講師は現役の小児科医であり、多くの臨床例をもとに、映像や資料データをもとに、わかりやすく解説いただくとともに、エピペンを使った実習を交えて、現場ですぐに役立つ対応方法について指導いただいた。受講者の貴重な学びの場となった。 2. [テーマ別研修] (*市内の私立幼稚園・認定こども園対象) (1)日 時： 令和 4 年 11 月 4 日(金) 15:30～17:00 (2)会 場： 大阪私学会館 301～303 (3)テーマ： 「幼児期の食事について」 (4)講 師： 中森 玲子 先生 ((株)イーアドバンス管理栄養士) (5)参加者数: 57 名 (6)研修内容 ① ウイルスに負けない体力づくり(免疫力をあげるには) 腸内環境を整える食事を取ることが大切 ③ 母親が悩む子どもの「食」事情 ④ 子どもの反応でわかる家庭の様子 ⑤ 先生が悩む子どもの「食」事情 ⑥ 食品添加物・食物アレルギー ⑦ 食事の意義・味覚の通り道・箸の持ち方・姿勢 愛ある食環境が愛ある思考を育むことがよくわかり、保育者としての気づきや必要な知識・技能についても知ることができた。

第 3 次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	大阪市農業協同組合
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	設立 平成 4 年 4 月 1 日 職員数 246 名 目的 農業者の発展と生産力増進や農業者の生活をまもるため
取り組み内容 令和 4 年度 実績	令和 4 年 7 月 2 日(土) JA 大阪市 営農促進センターの圃場にて、毎年「親子で農業体験」を実施している。今年は 38 名が参加し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら午前中で終了した。子供たちは田植えと夏野菜(トウモロコシ、オクラ、なす、ジャガイモ等)の収穫を体験した。泥水の中、泥だらけで手植での体験をし、後は田植機でのデモンストレーションを見て楽しんだ。   令和 4 年 11 月 5 日(土) この日は先にサツマイモ掘りを体験し、大きなお芋から小さなお芋まで、大きさはまちまちであったが子供たちは芋ほりを楽しんだ。その後、7 月に田植えを体験した 38 名のうち、35 名が米の収穫体験に挑戦した。営農促進センター職員が鎌の使い方を教えて、ケガのないように指導する職員を配置しながら行った。残りの稲穂はコンバインで刈り取り、子供たちは「かっこいい」と言いながら楽しそうに見ていた。自分たちが刈り取った稲は、乾燥・粳摺り・精米とセンター職員が管理し、各ご家庭に郵送で送った。  

第 3 次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	近畿百貨店協会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	近畿百貨店協会は、日本百貨店協会の地区百貨店協会のひとつで、百貨店業の健全な発展を図り、国民生活の向上と経済発展に寄与することを目的として活動しています。近畿 2 府 4 県(+福井県)エリアを対象に、当協会の会員会社は 10 社、42 店舗になり、そのうち在阪百貨店は 5 社、18 店舗(大阪市内百貨店は 5 社、8 店舗)となります。
取り組み内容 令和 4 年度 実績	一般社団法人日本百貨店協会との事業運営の一体化を基本に、地区百貨店会員店間の積極的な情報交換を図っております。 日本百貨店協会では各種専門委員会を常設。食に関しては、食品委員会を中心に活動しております。 ■ 日本百貨店協会の食品委員会と連携した当近畿百貨店協会会員店で構成する品質管理専門部会も新型コロナにより約3年休会しておりましたが、11月に WEB で再開いたしました。 また下記の日時にセミナーを開催することができました。 ○日 時 : 2022年11月24日(木)14:00～15:00 ○場 所 : ZooM 開催 ○講演会テーマ : 「管理栄養士から見た百貨店の品質管理業務において重要なこと」 ○講 師 : 公益社団法人大阪府栄養士会 会長 藤原 政嘉様 ○内 容 : 食品表示基準では、容器包装に入った加工食品等に栄養成分表示が義務付けられるなど、栄養成分表示についての重要性が高まっているなか、栄養成分表示の必要性や栄養成分(栄養素)の見方など、管理栄養士から見た百貨店の品質管理業務において重要なことについてお話しいただいた。。 ○出席者 : 在阪百貨店5社(近鉄・阪急阪神・高島屋・大丸松阪屋・京阪) ■ 日本百貨店協会では、百貨店に来店されるお客様に「食の安全と安心」を提供するために、食品担当者の人材力強化を目的とする「百貨店食品安全アドバイザー検定資格制度」を設けています。新型コロナの影響で休止していたがようやく12月より再開。 この制度の対象者は、百貨店において食品を扱う売場に勤務する従業員、また百貨店取引先企業の方、その他食品アドバイザーをぜひ受けたいとの意欲のある方になります。

第 3 次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	大阪府飲食旅館生活衛生組合連合会
団体等の概要 （設立・会員 数・目的等）	大阪府下の飲食や旅館に関係する8の生活衛生同業組合から構成されており、構成団体間の緊密なる調整を図るとともに、各組合の目的達成に努め、もって社会の福祉に貢献し、併せて業界の福利増進に資することを目的としています。 設立は昭和 34 年 4 月 15 日であり、事務所は原則として会長所属の生活衛生同業組合の事務所内に置いています。 構成団体は以下のとおりです。 【飲食生活衛生同業組合8団体】 ・大阪府麺類食堂業生活衛生同業組合 ・大阪府鮓商生活衛生同業組合 ・大阪府中華料理業生活衛生同業組合 ・大阪府社交飲食業生活衛生同業組合 ・大阪府喫茶飲食生活衛生同業組合 ・大阪府旅館ホテル生活衛生同業組合 ・大阪府料理業生活衛生同業組合 ・大阪府飲食業生活衛生同業組合
取り組み内容 令和 4 年度 実績	■大阪ヘルシー外食推進協議会(飲食に関連する団体・行政・栄養、健康に関連する団体及び企業からなる、官民一体となって外食における栄養成分表示をはじめ、ヘルシー外食を普及するために活動する会)の「ヘルシー外食コンテスト 2022」の運営に参加しました。 ・一次審査 令和 4 年 10 月 12 日(水)に応募のあった全 33 メニューについて、運営会議関係者で書類審査を行い、全 33 メニューを選出しました。 ・WEB投票 一次審査で選ばれた 33 メニューについて、令和 4 年 11 月 1 日(火)～12 月 10 日(土)の間で行いました。投票者数 2,191 人。 ・二次審査 令和 4 年 12 月 14 日、ヘルシー度とWEB投票の点数から選んだ 18 メニューについて、(一社)大阪府調理師会副理事長の上野研二氏を審査委員長とし、学識経験者・関係団体代表者の審査委員 14 名によって、料理の創造性、見栄え・地域性、アピールポイントを点数で評価し、その点数にヘルシー度およびWEB投票の得票率を加点して入賞 7 メニューを決定しました。 ■大阪ヘルシー外食推進協議会の「ヘルシー外食フォーラム 2022」の運営に参加しました。 日 時:令和 5 年 1 月 25 日(水)15:30～16:30 会 場:「FOOD STYLE Kansai2023」インテックス大阪 1 号館 セミナーB 会場 参加者:53 名 ・第一部 15:30～16:00 表彰式 「ヘルシー外食コンテスト 2022」 ・第二部 16:00～16:30 講演 「すしへの想い」 講師 大阪府鮓商生活衛生同業組合 理事長 井上 正典

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	公益社団法人 大阪食品衛生協会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	飲食等に起因する中毒、感染症及びその他の危害の発生を防止するため、食品関係事業者に対する食品衛生管理の指導や消費者への食品衛生知識の向上を図るための普及啓発事業等を行っています。 昭和 35 年 9 月 設立 昭和 53 年 11 月 社団法人認可 平成 25 年 4 月 公益社団法人認定 会員数:正会員 47 業種団体会員 26 特別会員 133 社 (令和 5 年 1 月末時点)
取り組み内容	1 食の安全安心啓発ポスター・標語コンクール(募集期間:7/25～8/31) 応募数:ポスター 27 作品、標語 636 作品 表彰数:ポスター 4 作品、標語 4 作品 展示:令和 4 年 9 月 30 日～10 月 12 日 (大阪メトロ御堂筋線梅田駅構内) 令和 5 年 1 月 13 日～1 月 31 日 (阪急電鉄大阪梅田駅構内) 令和 5 年 2 月 14 日 (食品衛生フォーラム開催場所) 2 食中毒予防啓発活動 例年、大阪府内 17 ブロックで実施してきました本部主催の街頭キャンペーンについては、今年度も新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み事業を見合わせましたが、八尾支部、狭山支部、中央卸売市場支部、大阪市南西支部、堺支部、東大阪市西支部におきまして、保健所様等のご協力をいただき感染予防に配慮し普及啓発活動を実施しました。 3 ノロウイルス予防対策強化事業 令和 4 年 12 月 12 日～12 月 21 日と令和 5 年 1 月 16 日～1 月 25 日の 2 回、e-ラーニングシステムを利用し限定配信しました。内容は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の左近主幹研究員様に「ノロウイルス食中毒:傾向と対策」、サラヤ(株)の山崎様に「嘔吐物の適切な処理について」の講演をいただきました。また、令和 5 年 2 月 15 日、ホテルプリムローズ大阪において、「ノロウイルス食中毒予防について」と題し、大阪市西部・南東部の支部合同食品衛生研修会を開催しました。 4 食品衛生フォーラム 令和 5 年 2 月 14 日、ホテルプリムローズ大阪において、食品に関するリスクコミュニケーション「食物アレルギーについて考えよう」を大阪府と共同で開催しました。食物アレルギーによるリスクについて食品等事業者、消費者、行政の三者による意見交換を行い、相互理解しその対応を考えることにより、食品等事業者の取組みを後押しすることに努めました。
令和 4 年度実績	 大阪メトロ 梅田駅構内  阪急 大阪梅田駅構内  八尾支部  大阪市南西支部  堺支部  東大阪市西支部   